

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	やまだ りきや 山田 力也	所属・職名	健康福祉学部 社会福祉学科 准教授
専門領域	スポーツ社会学	学位称号	学士(体育学) .1995 (平07) 修士(体育学) .1999 (平11)
最終学歴	1999 (平11) 福岡大学大学院体育学研究科体育学専攻(修士課程) 修了		
資格・免許等	中学校教諭専修免許状(保健体育) (福岡県教育委員会: 第0055号) 高等学校教諭専修免許状(保健体育) (福岡県教育委員会: 第0075号) レクリエーション・コーディネーター (財) 日本レクリエーション協会) 福祉レクリエーション・ワーカー (財) 日本レクリエーション協会) 障害者スポーツ(中級) 指導員 (財) 日本障害者スポーツ協会) 専門社会調査士(社会調査士資格認定機構: 第001325号)		
教育上の能力に関する事項			
担当科目	フィットネス・スポーツ、ウェルネス・スポーツ、あすなろう体験、レクリエーション実技、社会人基礎力養成講座Ⅰ・Ⅱ、キャリア開発演習Ⅰ・Ⅱ、キャリア開発実習、身体運動実習Ⅰ(エアロビックダンス)		
教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等	<p>・学生によるレクリエーションや障害者スポーツを用いた地域交流活動の実践 福祉現場において即戦力と成り得る人材を育成することを目的に、大学周辺の地域住民(障害の有無や年齢にとらわれない全ての人々)を対象にした学生参画型の交流活動を実施することで、実践的・体験的学習機会を構築し、さらに充実した教育環境を整備した。</p> <p>具体的には、レクリエーションや障害者スポーツ等の専門資格を取得希望する学生を中心として、地域の有資格者を中心に、市町村役場や公民館関係者、関連する福祉施設等との連絡調整を行い、協力をいただきながら学生自身が主体となって年に2回(春と秋)地域交流イベントを企画・運営し開催させるものである。</p> <p>この取組みは、学生のイベント参画(企画・運営)力はもちろん、協働者や地域の方々、障害者スポーツ競技者とのふれあいや交流による様々な意見交換は、学生にとって貴重な社会体験の場となっている。また、地域福祉への意識の高まりと同時に、社会での自身の役割の把握が得られ、福祉援助者としての資質向上効果をもたらしている。</p> <p>※平成 15～18 年度および平成 19～21 年度 私立大学教育研究高度化推進特別補助(文部科学省) 採択。</p> <p>・学生の就業力育成支援計画の立案 本計画は、従来の各学科と教務課並びに学生支援課による専門職業人養成システムに加えて、幅広い職業人としての資質能力の向上を可能とする新しい教育プロセス(「新あすなろう体験Ⅰ～Ⅲ」)を共通教育課程に設置し、新設するセンターにおいてこれを運用しようとする取組みを計画したものである。</p> <p>この取組みによって、学生の職業観や将来展望を明確にし、適正な就業へと学生を導くことが可能となる。上述の科目群には、専門分野にとらわれないボランティア、地域活動、インターンシップ、グループワークによる課題解決型学習(PBL)等の体験型学習が組み込まれている。学生はそれらを継続的に学習し、幅広くかつ明確な職業観を養うことが可能となる。また、PBLの実社会への還元といった高次の課題も用意することで、学生は、社会人に必要とされる自律的能力(問題解決能力、コミュニケーション能力、自己管理能力等)を身につけることが可能となる。</p> <p>※平成 22～23 年度 大学生の就業力育成支援事業(就業力 GP) (文部科学省) 採択。</p> <p>・東日本大震災被災地でのレクリエーション実習の実施 宮城県東松島市内の福祉施設や小学校で 19 名の学生がレクリエーション支援を行う取組みを計画し実行した。(2012.3)</p>		

職務上の実績に関する事項

・東日本大震災復興支援事業 西九州大学グループ復興支援隊 (引率参加) (2011.9.宮城県気仙沼市内)

研究業績等に関する事項

《平成19年度～平成23年度》

著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
[著書]			
1. 変わりゆく日本のスポーツ	共著	世界思想社	平成20年3月
2. 障がい者のスポーツ支援・指導ガイドブック	共著	日本障害者スポーツ指導者協議会 福岡支部	平成21年3月
3. 福祉社会のアミューズメントとスポーツ	共著	世界思想社	平成22年3月
4. スポーツビジネス概論	共著	叢文社	平成24年3月
[学術論文]			
1. 効果的な初年次教育プログラム構築へ向けての課題 —西九州大学健康福祉学部社会福祉学科の取組の検討を通じて—	共著	永原学園 西九州大学・佐賀短期大学紀要第40号	平成23年3月
[学会発表]			
1. 学生による地域福祉を意識したイベントの展開 —「あそびの日」キャンペーンへの参画事例—	単独	平成19年度日レク全国研究集会 於麻生医療福祉専門学校	平成19年6月
2. アダプテッド・スポーツ研究の新しい視角の可能性	単独	九州体育・スポーツ学会 第56回大会 於県立長崎シーボルト大学	平成19年8月
3. スポーツクラブにおける相互承認と相互支援システムに関する研究 —総合型地域スポーツクラブにおける障がい者の加入をめぐる—	共同	日本体育学会 第59回大会 体育社会学専門分科会 於早稲田大学	平成20年9月
4. スポーツプロモーションにおける「揺らぎ」の意味と構造 —総合型地域スポーツクラブ育成事業をめぐる—	共同	日本体育学会 第59回大会 体育社会学専門分科会 於早稲田大学	平成20年9月
5. 大学サークル主導による地域住民と学生のアダプテッド・スポーツを用いた交流の実践	単独	日本体育学会 第60回大会 アダプテッド・スポーツ専門分科会シンポジウム 於広島大学	平成21年8月

学会及び社会における活動等

〔所属学会〕

日本体育学会 アダプテッド・スポーツ分科会 (評議員 2006～)
日本体育学会 体育社会学専門分科会
九州体育・スポーツ学会
日本スポーツ社会学会
日本アダプテッド体育・スポーツ学会
日本レジャー・レクリエーション学会
九州レジャー・レクリエーション学会 (事務局長 2003～2008、理事 2009～、学会誌編集委員 2010～)
日本運動・スポーツ科学学会 国際体育・スポーツ分科会
日本障害者スポーツ学会

〔社会における活動〕

NPO 法人 障害者自立生活支援センター「ドリーム・ロード」 (理事 2002～)
佐賀県フライングディスク協会 (理事 2002～)
佐賀県障害者フライングディスク協会 (理事 2003～)
はがくれ車いすバスケットボール大会 実行委員会 (2004～)
佐賀市市民活動啓発委託事業審査委員会 委員 (2005、2007、2010)
佐賀市体育施設指定管理者審査委員会 審査委員 (2005、2006、2010、2011)
立教大学アミューズメント・リサーチセンター (RARC) 福祉プロジェクト 特別研究員 (2006～2009)
福岡市市民スポーツ調査委員会委員 (2006.6～2007.3)
佐賀市スポーツ振興審議会委員 (基本計画部会 副会長 2007.6～2009.6) (2010.6～2012.6)
日本障害者スポーツ指導者協議会九州部会 研修・研究委員 (2008～)
佐賀県レクリエーション協会 (理事 2009～)
佐賀県課程認定校連絡協議会 (事務局長 2009～)
佐賀県卓球バレー協会 (事務局長 2010～)
西ブロック卓球バレー連盟 (理事 2011～)